

過去に戻れたら

E4 ファジル

皆さん、過去に戻りたいと考えたことはありませんか？誰でも多分、後悔したことがあるから、それを変えたり嫌な思い出を消したりして、もっと幸せな人生を送りたいと思うのです。そういう気持ちを私は感じたことがあります。私は、過去の3つのときに戻りたいと思っています。

一つ目は、高校1年生のときです。このとき私は、人生初のクリケットの大会に参加しました。ポジションはピッチャーでした。私の学校は強い学校ではありませんでしたが、強豪校（きょうごうこう）を恐れてはいませんでした。他の学校のチームに負けても、私たちはいい試合をしていました。私は5人のバッターを三振させたことをまだはっきり覚えています。私は強い肩は持っていませんが、監督のおかげで、変化球がとても得意でした。この大会で私たちは、3試合のうち1試合だけ勝つことができました。この勝利は私たちにとって、私たちの努力は無駄ではなかったことの証（あかし）になりました。皆とクリケットをやるのはとても楽しかったです。だから、もう一度、このときに戻って、そのチームメイトたちとクリケットをやりたいです。

2つ目は、中学2年生のときです。中学2年生の時私は生徒会に入りました。そのとき、寮の部屋の中で、私はたった一人の後輩で、他は先輩でした。最初は、怖かったです。予想通り、いつも先輩に用事をさせられました。部屋の掃除をしたり、服を洗ったり、マッサージしたりさせられました。その代わりに、先輩たちは私に勉強を教えてくれて、時々お金をくれたこともあります。先輩にによると、これはこの寮の伝統だそうです。しかし、二年生の最後の日、先輩たちは私を呼ん

で、大きなプレゼントをくれて、感謝してくれました。私がいなかったら、多分彼らは勉強の時間がなくて、五年生の先輩も試験に合格出来なかったと言いました。先輩と過ごした時間はとても楽しかったので、私はもう一度この時に戻りたいです。

最後は、去年の3月14日に戻りたいです。その日に、私はとても大切な人を失いました。それは父です。父は喘息（ぜんそく）を患っていました（わずらっていました）が、それほど深刻ではありませんでした。3月14日に、父と母は祖父と祖母の見舞いに行きました。しかし、私は友達が遊びに来る約束があったので行きませんでした。午後4時ごろ、私は父に電話して、「いつ帰るの？」と聞いたら、父は「もうすぐだよ」と簡単な返事をしました。午後6時半ごろ、突然母から電話が来て、泣いている声が聞こえました。「お父さんが倒れた！」と急に言いました。母によると、モスクでお祈りをしたあと、突然喘息の発作（ほっさ）がおきて、倒れたそうです。周りの人が父を病院へ運んでくれました。しかし1時間後、残念ながら、医者は父が死んだことを確認しました。この知らせを聞いた瞬間、涙があふれてきました。どうして、自分は両親と一緒に行かなかったのだろう、と思いました。すごく後悔しました。だから、一度だけでも、一秒だけでも、あの日に戻って、思い切り生きているお父さんを抱きしめたいです。

私たちにはいろいろな過去があります。嫌な過去や、楽しい過去、しかしどんな過去があっても、これが今の自分を作っている過去です。だから、私たちは二度と取り戻すことができない時間を大切にすべきです。

以上、私のスピーチを終わります。ご清聴(ごせいちょう)いただき、ありがとうございます。